

■事業

布・レザーの自動裁断機導入による作業の効率化と廃棄ロスゼロ化

■対象類型

ものづくり技術 機械制御

■導入機械装置

自動裁断機 P-CAM160

自動裁断機導入でリードタイム短縮
廃棄ロスのゼロ化で収益性もアップオリジナルや特注の家具を製造・販売
顧客のこだわりを「形」に

【経営理念】

空間デザイン事業を通じて、空間プロデュースを提供し、お客様の成長と共に繁栄する企業を実現する

オリジナルや特注家具の製造・販売を手掛ける株式会社キノシタ(本社・大阪市)。出雲工場は平成元年に商品管理センターも設置して操業を始め、木製製品のほぼ全てを生産している。全国的なホテルの建設ラッシュで、繁忙を極めるが、補助事業で導入した布・レザーの自動裁断機がフル稼働して生産増に貢献している。

キノシタは、昭和28年に椅子加工業として創業し、47年にキノシタ家具(60年にキノシタに変更)として設立。56年からはオリジナル家具「アボール」の製造・販売を始め、市場ニーズをキャッチした新商品を送り出している。大阪の工場が手狭になったことなどから出雲に進出し、テーブルや机、椅子など木製品を手掛けてきた。リーマンショックの際は、一気に需要が落ち込み、閉鎖の危機に見舞われたこともあった。

営業成績のアップなど
プラスアルファ効果も

自動裁断機の導入は、平成25年にカフェ向けファニチャーの新ブランド「カロレ」を立ち上げた際、従来の手作業では時間のロス、布や革の廃棄ロスがあることから、26年度の補助金を活用した。コンピューターを利用して設計・生産を一貫して行う技法のCAD/CAMは、各パーツの配置が確認でき、材料の必要メーター数が瞬時に把握できるなど、裁断時間の大幅な短縮と多めの布の手配がなくなった。手作業では3時間ほどかかる裁断が10分程度で出来、椅子の張り作業全体でリードタイムが約20%短縮された。廃棄ロスのゼロ化による効率性と収益性のアップでは、裁断精度が高まったこともあり、平均的な商品で14%程度のコストダウンにつながった。

作業の効率化、材料の無駄の削減のみならず、繁忙期には断っていた受注



大阪本社にある「カロレ」ブランドのショールーム



1、2、3 CAD/CAMによる自動裁断機



が可能になり、通常期には残業の減少につながった。手作業からの脱却は、従業員が多能工的に次の段取りを行うこともでき、営業マンが顧客からの問合せで必要な布の要尺計算を瞬時に答える事が出来るので、営業マンの無駄な作業もなくなり営業成績のアップにつながっているなどのプラスアルファ効果がでている。

異業種コラボで県産材を使った
地元ブランドを開発

導入前の25年度の椅子の出荷が約4700脚だったものが26年度は8800脚に増え、本年度は2万脚が予定される。リーマンショック時に10人だった従業員は20人に増え、新ブランドのカロレがホテル、商業施設などで好評で、増員も計画している。

また、木材卸売の出雲木材市場、畳製造の積水成型工業出雲工場との異業種コラボレーションで、キノシタがデザインし、県産ヒノキを使った、座面が畳のオリジナル椅子を開発。出雲市のブランド認定を受けた「iZUKO(いすこ)」ブランドで販売を始め、海外からの注文も来ている。“会社愛”に燃える従業員のモチベーションも高く、これからも顧客のこだわりを「形」にして届ける社業の推進に期待が膨らむ。

■Company Data

株式会社キノシタ



キノシタ出雲工場

代表者名：木下 喜量
設立年：昭和47年
資本金：5,000万円
従業員数：60名(平成29年3月度/グループ全体)
業種：家具・装備品製造業
売上：35億6000万円(平成29年3月度/グループ全体)
本社：〒556-0005
大阪府大阪市浪速区日本橋4丁目9-22
電話：06-6644-5541 FAX：06-6644-5544
出雲工場：〒693-0043 島根県出雲市長浜町516-45
電話：0853-28-0311 FAX：0853-28-0450
URL：http://www.kk-kinoshita.co.jp/